

#### IV 企業経営者意識調査（アンケート調査）

BSI（Business Survey Index）指標について

企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各 BSI 指標を算出。

BSI = （「上昇」とする企業の割合（％））－（「下降」とする企業の割合（％））

##### 1 概況

- 業況感は、前期から 4 ポイント上昇し 4 ポイント。
- 売上は、前期から 9 ポイント上昇し 9 ポイント。
- 経常利益は、前期から 7 ポイント下落し△20 ポイント。
- 資金繰りは、前期から 6 ポイント上昇し△5 ポイント。
- 雇用者の不足感は、前期から 4 ポイント下落し 48 ポイント。
- 原材料価格（製造業）は、前期から横ばいで 100 ポイント。
- 仕入価格（卸売・小売業）は、前期から 8 ポイント上昇し 100 ポイント。
- 道内の景況感は、前期から 10 ポイント上昇し△7 ポイント。

##### （1）業況感

・ 今期の業況感 BSI は 4（前期から 4 ポイント上昇）

製造業でマイナス幅が大きく拡大。その他の業種は上昇。

・ 来期の業況感 BSI は△15（今期から 19 ポイント下降）

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総計	0	22	60	18	4	4	16	53	31	△15	△19	
業種	建設業	9	25	62	13	12	3	13	62	25	△12	△24
	製造業	57	13	49	38	△25	△82	25	12	63	△38	△13
	卸売・小売業	△23	11	56	33	△22	1	11	56	33	△22	0
	運輸業	△40	0	100	0	0	40	17	83	0	17	17
	サービス業	0	43	50	7	36	36	14	57	29	△15	△51

##### （2）売上（生産）高

・ 今期の売上（生産）高 BSI は 9（前期から 9 ポイント上昇）

製造業、卸売・小売業でマイナス幅拡大。その他業種は上昇。

・ 来期の業況感 BSI は△5（今期から 14 ポイント下降）

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総計	0	29	51	20	9	9	23	49	28	△5	△14	
業種	建設業	0	25	62	13	12	12	25	62	13	12	0
	製造業	57	13	37	50	△37	△94	25	12	63	△38	△1
	卸売・小売業	△16	11	56	33	△22	△6	11	56	33	△22	0
	運輸業	△20	17	83	0	17	37	17	83	0	17	0
	サービス業	△5	57	36	7	50	55	33	42	25	8	△42

(3) 経常利益

・ 今期の経常利益 BSI は△20 (前期から7ポイント下降)

建設業、製造業でマイナス幅が拡大。その他の業種は上昇。

・ 来期の経常利益 BSI は△20 (今期から横ばい)

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総 計	△ 13	13	54	33	△ 20	△ 7	16	48	36	△ 20	0	
業 種	建設業	△ 8	0	50	50	△ 50	△ 42	13	37	50	△ 37	13
	製造業	57	0	50	50	△ 50	△ 107	25	12	63	△ 38	12
	卸売・小売業	△ 30	11	67	22	△ 11	19	11	67	22	△ 11	0
	運輸業	△ 40	0	67	33	△ 33	7	17	66	17	0	33
	サービス業	△ 22	36	43	21	15	37	15	54	31	△ 16	△ 31

(4) 資金繰り

・ 今期の資金繰り BSI は△5 (前期から6ポイント上昇)

製造業がマイナス幅拡大。その他の業種は上昇。

・ 来期の資金繰り BSI は△7 (今期から2ポイント下降)

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	
総 計	△ 11	9	77	14	△ 5	6	9	75	16	△ 7	△ 2	
業 種	建設業	△ 25	0	100	0	0	25	13	74	13	0	0
	製造業	29	0	62	38	△ 38	△ 67	13	37	50	△ 37	1
	卸売・小売業	△ 15	11	67	22	△ 11	4	0	89	11	△ 11	0
	運輸業	△ 20	0	100	0	0	20	20	80	0	20	20
	サービス業	△ 11	21	72	7	14	25	8	84	8	0	△ 14

(5) 雇用者総数

・ 今期の雇用者総数 BSI は△24 (前期から12ポイント下降)

製造業、運輸業、サービス業でマイナス拡大。建設業は横ばい、卸売・小売業は上昇。

・ 来期の雇用者総数 BSI は△19 (今期から5ポイント上昇)

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	
総 計	△ 12	7	62	31	△ 24	△ 12	5	71	24	△ 19	5	
業 種	建設業	0	13	74	13	0	0	13	87	0	13	13
	製造業	0	13	37	50	△ 37	△ 37	0	50	50	△ 50	△ 13
	卸売・小売業	△ 18	13	87	0	13	31	13	87	0	13	0
	運輸業	0	0	67	33	△ 33	△ 33	0	83	17	△ 17	16
	サービス業	△ 25	0	50	50	△ 50	△ 25	0	58	42	△ 42	8

(6) 雇用者の不足感

・ 今期の雇用者の不足感 BSI は48 (前期から4ポイント下降)

製造業でプラス幅拡大。その他の業種は横ばいからマイナス。

・ 来期の雇用者の不足感 BSI は50 (今期から2ポイント上昇)

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅	
総 計	52	48	52	0	48	△ 4	50	50	0	50	2	
業 種	建設業	75	75	25	0	75	0	63	37	0	63	△ 12
	製造業	17	38	62	0	38	21	50	50	0	50	12
	卸売・小売業	45	33	67	0	33	△ 12	33	67	0	33	0
	運輸業	60	50	50	0	50	△ 10	67	33	0	67	17
	サービス業	50	45	55	0	45	△ 5	45	55	0	45	0

(7) 残業時間

・ 今期の残業時間 BSI は△4 (前期から 10 ポイント上昇)

製造業、卸売業でマイナス、その他の業種は横ばいから上昇。

・ 来期の雇用者の不足感 BSI は△4 (今期から横ばい)

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	
総 計	△ 14	17	62	21	△ 4	10	17	62	21	△ 4	0	
業 種	建設業	△ 42	25	75	0	25	67	13	74	13	0	△ 25
	製造業	0	13	37	50	△ 37	△ 37	38	12	50	△ 12	25
	卸売・小売業	0	0	87	13	△ 13	△ 13	0	100	0	0	13
	運輸業	0	33	34	33	0	0	33	50	17	16	16
	サービス業	△ 13	17	66	17	0	13	8	67	25	△ 17	△ 17

(8) 1人当たり賃金

・ 今期の1人当たり賃金 BSI は41 (前期から4ポイント上昇)

卸売・小売業でマイナス、その他の業種は横ばいから上昇。

・ 来期の1人当たり賃金 BSI は△39 (今期から2ポイント下降)

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	
総 計	37	43	55	2	41	4	41	57	2	39	△ 2	
業 種	建設業	58	75	25	0	75	17	50	50	0	50	△ 25
	製造業	57	63	37	0	63	6	75	25	0	75	12
	卸売・小売業	27	25	75	0	25	△ 2	25	75	0	25	0
	運輸業	20	20	80	0	20	0	40	60	0	40	20
	サービス業	25	31	61	8	23	△ 2	25	67	8	17	△ 6

2 在庫・価格水準

(1) 製造業

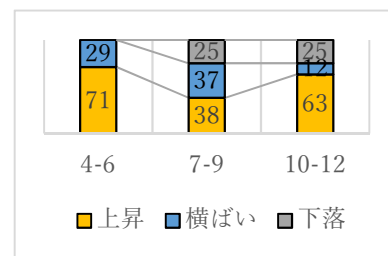
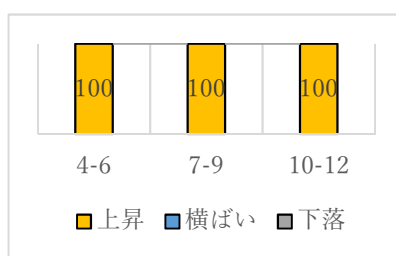
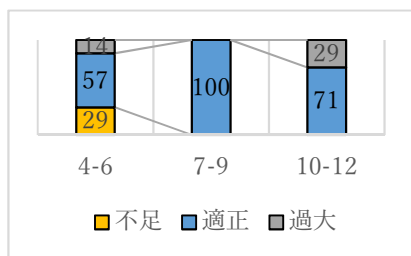
今期の実績

- ・ 製品在庫水準は、前期と比べ、「適正」が拡大、「不足」、「過大」が減少
- ・ 原材料価格は、前期と比べ、「横ばい」、「下落」が拡大、「上昇」が下降
- ・ 商品価格は、前期と同様「上昇」が 100%

(製品在庫水準)

(原材料価格)

(商品価格)

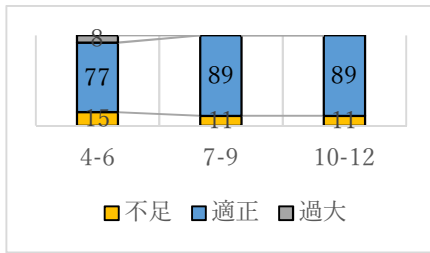


(2) 卸売・小売業

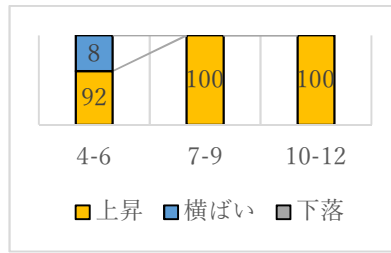
今期の実績

- ・ 製品在庫水準は、前期と比べ、「適正」が拡大、「不足」、「過大」が減少
- ・ 仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」が下降
- ・ 商品価格は、前期と同様「上昇」が拡大、「横ばい」が下降

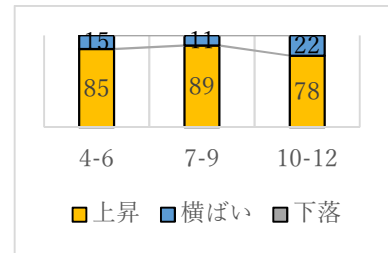
(製品在庫水準)



(仕入価格)



(商品価格)



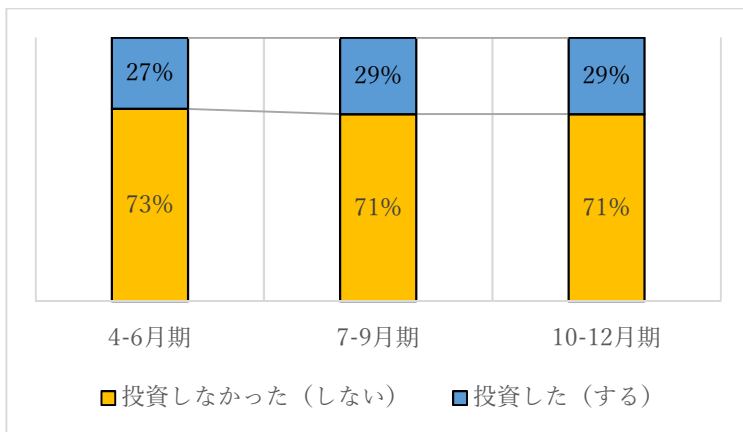
### 3 設備投資の状況

#### 今期の実績

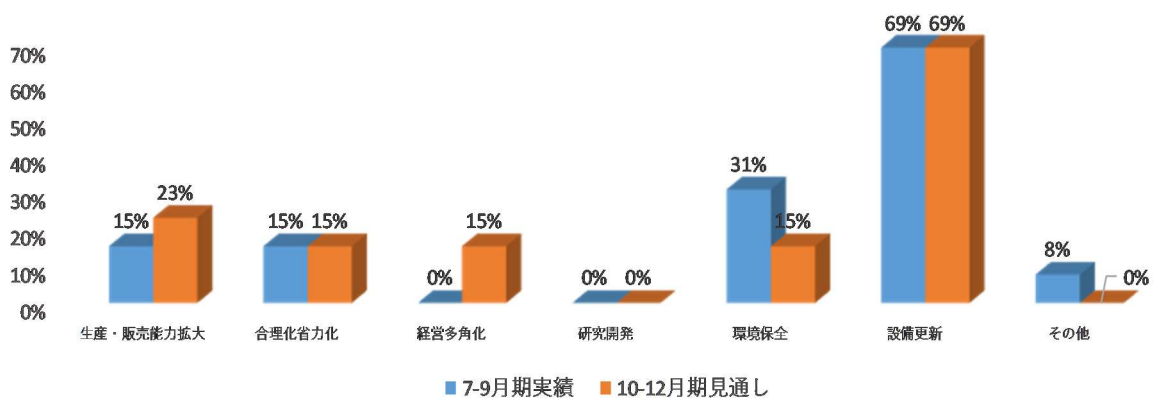
- ・「設備投資をした」と回答した企業は29%で、前期から2%増加。
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が69%、「環境保全」が31%、「生産・販売能力拡大」、「合理化・省力化」が15%。

#### 来期の見通し

- ・「設備投資をする」と回答した企業は29%で、今期から横ばい。
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が69%、「生産・販売能力拡大」が23%、「合理化・省力化」、「経営多角化」、「環境保全」が15%。



#### 設備投資の目的 (複数回答)



#### 4 道内の景況感

##### ・今期の業況感 BSIは△7（前期から10ポイント上昇）

製造業、卸売業でマイナス、その他の業種は横ばいから上昇。

##### ・来期の業況感 BSIは△16（今期から9ポイント下降）

区 分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総 計	△ 17	11	71	18	△ 7	10	14	56	30	△ 16	△ 9	
業 種	建設業	△ 18	25	75	0	25	43	25	50	25	0	△ 25
	製造業	0	0	57	43	△ 43	△ 43	0	43	57	△ 57	△ 14
	卸売・小売業	△ 16	0	67	33	△ 33	△ 17	0	56	44	△ 44	△ 11
	運輸業	△ 20	17	66	17	0	20	33	67	0	33	33
	サービス業	△ 23	14	79	7	7	30	15	62	23	△ 8	△ 15

#### 経営全般、自由記載（アンケート調査及びヒアリング調査）

##### ○アンケート調査

###### 【建設業】

- ・ 若年層技術者及び作業従事者の確保。
- ・ 技術者・作業員の人手不足。技術者不足のため入札に参加できず工事高減となり、経審にかかわる。
- ・ 建設業なので、若手の人材確保が必要。
- ・ 建築業界では様々な材料の高騰が止まず見積額も25%程上昇しており、住宅ローンの審査通過が難しくなり、お客様が断念せざるを得ない状況に至っているのが原因として新築件数が減少していると考えられる。  
今後も材料の高騰が止まらない状況が続く事に懸念しており、見積書有効期限もより一層短くなると思われる。

###### 【製造業】

- ・ 軽油・灯油・電気代・最低賃金の上昇が、負担になっている。設備投資をして、合理化・人員削減をして、コストダウンを図りたい。
- ・ 水揚減少、ロシア・ウクライナの問題での燃料費。
- ・ 老朽化による設備、建物の更新のための投資原資の確保。高齢化による生産性低下の懸念。生産性向上（機械化、省力化）の投資に対しての補助事業に期待する。
- ・ 燃料の高騰、仕入れ資材（発砲、真空袋）、調味料の高騰、加工用原材料（イカ不漁高騰、真たこ高騰）、今後下降繁忙期に入るホッケ漁の価格、漁模様など先行き不安、明るい兆しに期待が出来ない。
- ・ 後任経営者なし。

###### 【卸・小売業】

- ・ インボイス制度や電子帳簿保存方法、HACCPに基づいた衛生管理などに労力が費やされる。シニアの経営者にはつらい面がある。
- ・ コロナ、販売価格上昇によるガソリン販売減に対して、大手による入札での価格の値下げにより、地方小売業者の販路の縮小をいづらかでも変えて欲しい。
- ・ 人口の減少などによる、売上減少が続くのが今後の課題。
- ・ 若い人材の確保が難しい。

### 【運輸業】

- ・ 地域の規模と高齢者などの交通弱者のために行政と連携してデマンド交通の確立を目指したい。
- ・ 事業の維持に関する支援と連携を求めたい。
- ・ 今後、ドライバーの高齢化・人材不足が懸念される。

旅客に限らず、貨物を含めた運送業界全体がもっと魅力的なものであれば、人材不足になることはないと思う。各社それぞれ賃金アップや労働環境の改善に努めているが、企業努力だけでは限界があるように感じられる。このような業界内環境を改善するための公的な支援策を打ち出していきたい。

### 【サービス業】

- ・ 建物が老朽化しているので、設備・建物に対する補助金が欲しい。宿泊者が増えてきているのに、お客様に申し訳ない気持ちになる。

宴会が全くない。

- ・ 旅館業のため、コロナウイルス関連に大きく左右され、見通しの立たない時もあったが、規制が緩和され、客数も以前に近だけ戻りつつあるが、先に不安はある。
- ・ 今、奥尻は工事関係者の利用で宿泊施設やレンタカーが利用増になっているが、工事が終了後、観光客がどの程度戻ってくるか心配。
- ・ 人件費や物価の高騰で全てがギリギリの状態。これから冬に向かい光熱費の負担が増えると心配。
- ・ 燃料、電気料金、最低賃金、原材料、消耗品の価格上昇が経営を圧迫している。売上が思うように伸びないが、対策を検討中である。
- ・ 物価高の影響で今後の売上の増加見込が少ない。冬に向かうので電気、暖房代の出費が大きい。

### ○ヒアリング調査

#### 【団体等】

- ・ 行動制限が無くなり、全体的に持ち直しの傾向は見られるが、コロナ禍前に比べると、売上等は依然減少傾向。更に感染再拡大により年末・年始、年度末に向けて飲食店等への影響を懸念。

原油・原材料高騰による価格転嫁時期の見極めが重要。

道の補助制度に関して、事業継続緊急支援金の申請サポートを実施中。「中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金」の拡充等要望する。

- ・ 建設資材が入ってこなく、工期に影響が出るケースもある。

どこの会社も労働者、技術者不足。札幌の専門学校での説明会に参加する企業もあるが、こちらまで来てくれる人はいない。

地方でも働きたくなるような仕組み作りを考えてほしい。

#### 【製造業】

- ・ ロシア産原料が入らないため、仕入れ値が上昇。イカの不漁や燃料高騰の影響が大きい。
- ・ 売上は前年同期比2倍近くの増収となっているが、ボイラー用燃料の高騰により厳しい状況。従業員の不足は常に感じている。経理や労務などを専門に行う職員がいないため、そのような人材を採用することが課題。

遠方での催事・イベント出展に際し、中小・小規模事業者は、業務や費用負担を考え、なかなか参加できない。せめて旅費支援などあれば参加しやすくなり、管内製品の販路開拓に繋がるのでは。

- ・ コロナの影響で6月決算は減収・減益（赤字）。当社の主力商品に使用するイカが穫れず、他社から購入しているが、仕入価格が2倍程度の価格となるため厳しい状況  
夏以降売上が回復傾向にあるが、包装資材高騰の影響を受けている。  
本州で催事を実施すると、北海道での地域おこし協力隊に興味をもっている人がいる。行政とのマッチング機会を増やしたら良い。また、出展のたびに所在地の説明を行っている。道内各地域のPRを強化して欲しい。
- ・ 同時期の比較としては、売上・利益ともに8割程度まで減少。コロナで催事イベントが減少していることや包装資材の高騰が要因。  
地域おこし協力隊の活用について、行政と民間が話し合える機会があると良い。  
生産者、製造事業者に対する支援を手厚くしてもらいたい。

#### 【卸売・小売業】

- ・ 昨年度より売上は若干落ちている。  
人手不足感が更に増している。募集を出しても応募が無い。人自体がいないと感じる状況。  
新卒者の採用に関しては、採用者が少人数では研修もできず、育成ができないので、考えていない。
- ・ コロナが落ち着いても客足が戻っていない。何とか売上を維持している。  
燃料や容器など、全てが値上げしている。  
コロナ関連の補助金、支援金の対象を広げてほしい。
- ・ 燃料高騰によりお客さんは節約傾向。  
人口がどんどん減少し、売上の増加が見込めない。  
小さな店でも災害時の協定など、地域貢献をしているが、入札では函館などの大手に勝てない。  
優遇制度があれば良い。

#### 【サービス業】

- ・ 採用募集しても人が集まらない。
- ・ 売上は大きく減少。揚げ油、食材、包装資材等の値上がりにより経費増。
- ・ 売上はコロナ禍前の水準に戻ったが、電気代や人件費の上昇により利益はそこまで戻っていない。
- ・ 昨年より売上は回復しているが、電気代や人件費の上昇で厳しい状況。  
イベントが開催されれば、売上もかなり違うので、イベントの再開を希望。
- ・ 電気代高騰の影響が大きい。

#### 【農業】

- ・ 肥料高騰の影響が大きい。  
ICT化、スマート化の補助金があれば利用したい。  
製品のブランド化に助力してほしい。  
地域の知名度向上のため、観光農園などやってみたい。